

■東京盃(Jpn II)アラカルト(過去10年の分析)

※記録は8月30日時点のもの

■短距離ダートグレード競走(1400m以下)の優勝馬が10連勝中 (第38回から12連勝中)

- 第40回 リミットレスビッド(ガーネットS、根岸S)
- 第41回 リミットレスビッド(東京盃、兵庫ゴールドトロフィーなど)
- 第42回 フジノウェーブ(JBCスプリント)
- 第43回 パンブーエール(JBCスプリント、クラスターC)
- 第44回 サマーウインド(クラスターC)
- 第45回 スーニ(JBCスプリント、東京スプリントなど)
- 第46回 ラブミーチャン(兵庫ジュニアグランプリ)
- 第47回 タイセイレジェンド(JBCスプリント、クラスターC)
- 第48回 ノーザンリバー(東京スプリント、さきたま杯、カペラS)
- 第49回 ダノンレジェンド(黒船賞、東京スプリント、クラスターカップ)

■ダート1200m以下の実績が必須

◇3着以内の30頭中27頭がダート1200m以下での勝ち鞍

※例外は第41回2着メイショウバトラー(クラスターCなど1400mのダートグレード競走を5勝)、第47回3着アドマイヤサガス(ダート1400m戦を4勝)、第48回2着ドリームバレンチノ(1400mのダートグレード競走、兵庫ゴールドトロフィーを優勝)の3頭。

◇3着以内の30頭中24頭がダート1200m以下で連対率50%以上

※連対馬に限ると20頭中17頭が該当。

■プロキオンS、クラスターCの出走馬に注目

◇同年のプロキオンステークス出走馬が近年好成績

※6勝、2着2回、3着3回と好成績。

◇同年のクラスターカップ出走馬も4勝、2着4回、3着1回

※上記1~3着馬9頭中5頭がクラスターCの1着馬。

■4ヶ月以上の休養明けの馬は1勝のみと不振

※優勝は第42回のフジノウェーブ(前年のJBCスプリントの覇者)のみ。

※2着も第48回ドリームバレンチノ、3着も第46回セイクリムズンのみ。

■前走で芝のレースに出走していた馬も1勝のみ

※第40回優勝のリミットレスビッド(セントウルステークス)のみ。

■外国産馬は2勝、2着3回、3着0回

※21頭が出走し3着内5頭は、すべてJRA所属馬。

第45回優勝 スーニ

第49回優勝 ダノンレジェンド

■牝馬は1勝、2着2回、3着1回

第46回優勝 ラブミーチャン

※18頭が出走して1勝、2着2回、3着1回で、4頭ともダートグレード競走で連対実績があった。

■JRA所属馬が8勝でリード

◇JRA所属馬は8勝、2着7回、3着9回

◇地方所属馬は2勝、2着3回、3着1回

◇地方所属馬のワンツー・フィニッシュは1度のみ

◇JRA所属馬のワンツー・フィニッシュは6度

※うち5度はワンツー・スリー・フィニッシュ。

■南関東所属馬の傾向(1)

◇マイル以下の重賞で2勝以上の実績

第42回優勝 フジノウェーブ(JBCスプリント、マイルグランプリなど)

〃 2着 ディープサマー(アフター5スター賞、船橋記念など)

※上記に当てはまらないのは第41回3着ベルmontサンダー1頭のみだが、JRA転入初戦のスプリント戦の準重賞を勝っていた。

■南関東所属馬の傾向(2)

※アフター5スター賞1着馬は、7頭が出走して0勝、2着2回、3着0回。

◇第42回2着 ディープサマー

◇第44回2着 ヤサカファイブ

※今年の1着馬はルックスザットキル

■JRA所属馬は、根岸ステークス1着馬(同年に限らない)が2勝

第40回優勝 リミットレスビッド(平成18年の根岸S1着)

第41回優勝 リミットレスビッド(〃)

第46回3着 セイクリムズン(平成23年の根岸S1着)

第48回3着 セイクリムズン(〃)

■優勝馬10頭中8頭が、前走より斤量が軽くなっていた

※例外の2頭は第44回サマーウインド、第49回ダノンレジェンドは前走と同斤だった。

※2着馬、3着馬は20頭中11頭が前走より軽くなっており、斤量増で2、3着に入った馬は20頭中6頭。

■前2走とも掲示板を外していた馬はなし

※3着内馬30頭すべてが、少なくとも前2走のうちどちらかで5着以内に入っていた。

■5歳・6歳馬で8勝

◇3歳馬 0勝、2着1回、3着0回。3着内率3.3%

◇4歳馬 0勝、2着2回、3着1回。3着内率10.0%

◇5歳馬 4勝、2着2回、3着2回。3着内率26.7%

◇6歳馬 4勝、2着1回、3着4回。3着内率30.0%

◇7歳馬 1勝、2着3回、3着1回。3着内率 16.7%

◇8歳馬 1勝、2着1回、3着2回。3着内率 13.3%

※9歳馬以上の3着以内はなし。

■上位人気馬は安定

◇1番人気馬は5勝、2着1回、3着2回。3着内率 80.0%

◇2番人気馬は1勝、2着4回、3着2回。3着内率 70.0%

◇3番人気馬は2勝、2着1回、3着2回。3着内率 50.0%

■内田博幸騎手が2勝

※第41回リミットレスビッド、第47回タイセイレジェンドで優勝。

※岩田康誠騎手も1勝、2着3回、3着1回と好成績。

■加用正調教師(JRA)が2勝

※第40回・41回をリミットレスビッドで連覇。

■JBCスプリントの1着馬を4頭送り出す

※東京盃出走馬は、同年のJBCスプリントで5勝、2着5回、3着5回と大活躍している。

◇第40回優勝 リミットレスビッド→第6回JBCスプリント(川崎)3着

◇第41回4着 アグネスジェダイ→第7回JBCスプリント(TCK)3着

◇第43回2着 スーニ→第9回JBCスプリント(名古屋)1着

同10着 リミットレスビッド→ " 3着

◇第44回優勝 サマーウインド→第10回JBCスプリント(船橋)1着

同3着 ミリオンディスク→ " 3着

同4着 ナイキマドリード→ " 2着

◇第45回優勝 スーニ→第11回JBCスプリント(TCK)1着

同4着 セイクリムズン→ " 2着

◇第46回2着 タイセイレジェンド→第12回JBCスプリント(川崎)1着

同3着 セイクリムズン→ " 2着

◇第48回2着 ドリームバレンチノ→第14回JBCスプリント(盛岡)1着

同6着 サトノタイガー→ " 2着

同8着 タイセイレジェンド→ " 3着

◇第49回優勝 ダノンレジェンド→第15回JBCスプリント(TCK)2着

同3着 コーリンベリー→ " 1着

■③番が3勝でリード

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	1	0	3	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0
2着	2	0	0	0	0	0	0	3	0	2	1	1	0	0	0	1
3着	0	1	1	2	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0

■東京盃(Jpn II)アラカルト(過去 49 回の分析)

- ※第 6 回はNET盃競走で実施
- ※第 20 回は内回りコースで実施
- ※第 29 回から指定交流競走として実施
- ※第 31 回からダートグレード競走として実施
- ※第 36・37 回は 1190mで実施
- ※第 16 回は 2 番人気 2 頭(単勝投票同数)
- ※記録は 8 月 30 日時点のもの

■上位人気3頭の勝利数は拮抗

- ◇1 番人気馬 15 勝、2 着 7 回、3 着 5 回。3 着内率 55.1%
 - ◇2 番人気馬 11 勝、2 着 9 回、3 着 8 回。3 着内率 57.1%
 - ◇3 番人気馬 12 勝、2 着 6 回、3 着 9 回。3 着内率 55.1%
- ※上位人気馬 3 頭での勝率は 77.6%と好成績。

■上位3番人気までの馬によるワンツースリーは、ほぼ5回に1回

- ◇49 回中 11 回が 3 番人気以内の馬によるワンツー・スリー・フィニッシュ(22.4%)
- ◇49 回中 17 回は 3 番人気以内の馬によるワンツー・フィニッシュ(34.7%)

■2勝馬は6頭

- 第 11・12 回 トドロキヒリュウ
- 第 17・18 回 スズユウ
- 第 21・25 回 テツノヒリュウ
- 第 28・29 回 サクラハイスピード
- 第 31・32 回 カガヤキローマン
- 第 40・41 回 リミットレスビッド

■牝馬が10勝と活躍

- 第 2 回 オリコ
- 第 8 回 イナリトウザイ
- 第 9 回 オサイチテューダ
- 第 14 回 カオルダケ
- 第 16 回 レイクルイーズ
- 第 22 回 イーグルシヤトー
- 第 30 回 トキオクラフティー
- 第 34 回 ベラミロード
- 第 36 回 アインアイン
- 第 46 回 ラブミーチャン

■外国産馬は4勝

第30回 トキオクラフティ(米国産)

第35回 ノボジャック(米国産)

第45回 スーニ(米国産)

第49回 ダノンレジェンド(米国産)

■3歳～5歳馬が好成績

◇3歳馬 10勝、勝率20.4%

◇4歳馬 9勝、勝率18.4%

◇5歳馬 16勝、勝率32.7%

◇6歳馬 8勝、勝率16.3%

◇7歳馬 4勝、勝率8.2%

◇8歳馬 2勝、勝率4.1%

※指定交流競走になった第29回以降の21年間では、6歳馬以上が10勝と活躍。

■JRA馬12勝でややリード

※指定交流競走になった第29回以降の21年間

◇地方所属馬 9勝、2着5回、3着7回。3着内率33.3%

◇JRA所属馬 12勝、2着16回、3着14回。3着内率66.7%

◇地方所属馬のワンツー・フィニッシュは第31回、第42回の2度

◇JRA所属馬のワンツー・フィニッシュは第35回、第38回、第39回、第40回、第41回、第43回、第47回、第48回、第49回の9度。(うち第38回、第40回、第43回、第47回、第48回、第49回はワンツー・スリー・フィニッシュ)

■最多優勝騎手は現役では内田博幸騎手(3勝)

※歴代では高橋三郎騎手、佐々木竹見騎手の4勝。

■最多優勝調教師(2勝)は11人

※現役では森秀行、加用正の2人。いずれかの調教師が優勝すれば3勝の単独最多勝利となる。

■③番の8勝が最多

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	7	4	8	2	4	6	2	1	1	1	5	1	2	1	2	2
2着	4	7	5	4	1	1	3	8	1	7	3	1	3	0	0	1
3着	3	8	3	2	4	4	6	5	3	4	1	2	1	1	1	1

■⑧枠が8勝でリード

枠番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1着	7	7	7	4	6	5	5	8
2着	6	7	4	5	8	9	9	1
3着	5	9	3	5	5	7	12	3